

届けよう 和の心 若葉が奏でるハーモニー

いよいよ目前に迫った、第45回全国高等学校総合文化祭「紀の国わかやま総文2021」。本県で初めての開催となる当大会は、高校生による国内最大規模の芸術文化の祭典です。総合開会式・パレードの開会行事を幕開けに、22の部門大会を県内各地で開催し、芸術文化活動に取り組む全国の高校生たちが日頃の成果を披露します。未来を担う高校生たちの輝く姿を是非ご覧ください。



大会マスコットキャラクター かいちゃん

生徒実行委員会 委員長 挨拶

みなさんこんにちは! 生徒実行委員会委員長の 前 冬磨 です。

いよいよ「紀の国わかやま総文2021」の開幕が目前に迫っています。長い時間をかけて作り上げてきた総文が、ようやく一つの形として完成しようとしていることに、私たち生徒実行委員会一同大きな喜びを感じています。

芸術や文化は笑顔を生み、笑顔は人を繋ぎます。これまでの活動の中で、私は数え切れない程の笑顔を見ました。プレ大会を観に来てくださった沢山の方々や、イベントに参加していただいた方々の笑顔です。本当に多くの方が総文を通して笑顔になり、そしてその笑顔がまた別の人を笑顔にする光景を見ました。自分たちの力で誰かを幸せにすることができる、その事実は私たちの大きなやりがいとなり、私たちの胸の中に今、強く刻まれています。新型コロナウイルス感染症の影響により、辛く苦しい日常が続いてはいますが、そんな今だからこそ伝えられる思いや感じていただける感動がわかやま総文にはきっとあります。「自分たちにできることは何か」そう考えながら最後まで駆け抜けたいと思っていますので、応援よろしくお願ひします!!



生徒実行委員会委員長 前 冬磨(開智高等学校3年)

生徒企画委員会の活動

生徒企画委員会委員は約2年間の活動を通じて、大会の開催準備や大会PR活動を行ってきました。これまでの活動の軌跡を、写真を通して紹介します。



委嘱状交付式(令和元年7月)



先催県生徒との交流(令和元年11月)



接遇研修(令和2年7月)



プレ大会総合開会式運営(令和2年10月)



会議の様子(令和3年1月)



大会PRイベント(令和3年4月)

活動の様子を随時、大会公式ホームページやSNSで紹介しています。ぜひご覧いただき、フォロー等で応援をお願いします!



(大会公式HP)



(Twitter)



(Facebook)



(Instagram)



(YouTube)

総合開会式 ●場所/和歌山ビッグホール

見どころ

総合開会式では、オープニングパフォーマンス、第1部「式典」に続き、次年度開催となる東京都や海外の高校生との第2部「交流ステージ」、第3部「開催地発表」をお送りします。

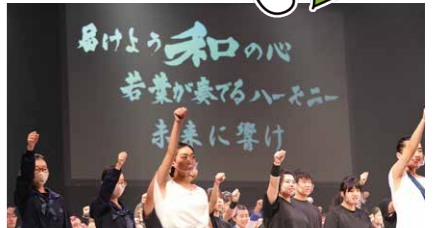
第3部「開催地発表」のタイトルは、「届けよう和の心 若葉が奏でるハーモニー」。和歌山で生まれた生命が、たくましく成長し、多くの仲間とともに未来へとほばたくストーリーを高校生たちがダイナミックに表現します。



歴史と風土(創造の光) 創作ダンス



友情(和の光) マーチング



未来に響け(希望の光) 大合唱

パレード ●場所/けやき大通り(和歌山市)

総合開会式終了後は、全国の高校生が参加して盛大なパレードを開催し、マーチングバンドの楽器演奏やバトン、フラッグによる演技などを披露します。



パレード出発式



パレード前の円陣

見どころ

パレードテーマは、「芽吹く若木の息吹 未知の可能性を乗せて」。これからの新時代を創り上げる無限の可能性を持った高校生の湧き上がるパワーをこのパレードで体感できます。

今年「紀の国わかやま文化祭2021」も開催されます。令和3年10月30日(土)～11月21日(日)

開催期間中の特別展をピックアップ!

いずれも有料ですが、高校生以下・65歳以上・障害者の方は無料です。詳しくは各館ホームページをご覧ください。*11月22日は和歌山県「ふるさと誕生日」のため無料開放します。

【県立近代美術館】 和歌山市吹上1-4-14 ☎073-436-8690

特別展 和歌山県誕生150年 「和歌山の近現代美術の精華」

会期 10月23日(土)～12月19日(日)

第1部 観山、龍子から黒川紀章まで 第2部 島村逢紅と日本の近代写真

和歌山ゆかりの近代・現代美術の重要作を、日本画、洋画、彫刻、版画、そして写真やデザインといった分野にも注目しながら紹介します。和歌山で生まれた文化の魅力をご覧ください。

紀の国わかやま文化祭2021特別連携事業



川端龍子《雷雨》

下村清時・観山《太子像》

【県立博物館】 和歌山市吹上1-4-14 ☎073-436-8670

創立50周年記念特別展 「きのくにの名宝—和歌山県の国宝・重要文化財—」

会期 10月16日(土)～11月23日(火・祝)

豊かな自然に恵まれたきのくに—和歌山県には、高野山や熊野三山に代表される全国的な霊場が開かれ、そのような歴史的環境を背景にしてより多くのすぐれた文化財が残されています。こうした文化財の中でも、とくに貴重である国宝・重要文化財の数々をみても、和歌山県は全国の上に位置しています。

この特別展は、和歌山県立博物館が昭和46(1971)年に創立されてから50周年をむかえることを記念して、和歌山県に残された国宝・重要文化財を展示します。現在は県外の国立博物館などに寄託されている文化財も里帰りして展示し、和歌山県の誇る数々の優品を紹介します。



熊野速玉大神坐像(熊野速玉大社蔵)

【県立紀伊風土記の丘】 和歌山市岩橋1411 ☎073-471-6123

特別展(紀伊風土記の丘開館50周年記念展) 「海に挑み、海をひらく —きのくに七千年の文化交流史—」

会期 10月2日(土)～12月5日(日)

紀州の海の民が育み日本各地にもたらした技術や産物及び各地で活躍した足跡を紹介し、和歌山を含む紀伊半島の海洋民が果たした文化的役割を紹介しします。



紀州漁業絵巻 (和歌山県立図書館蔵)